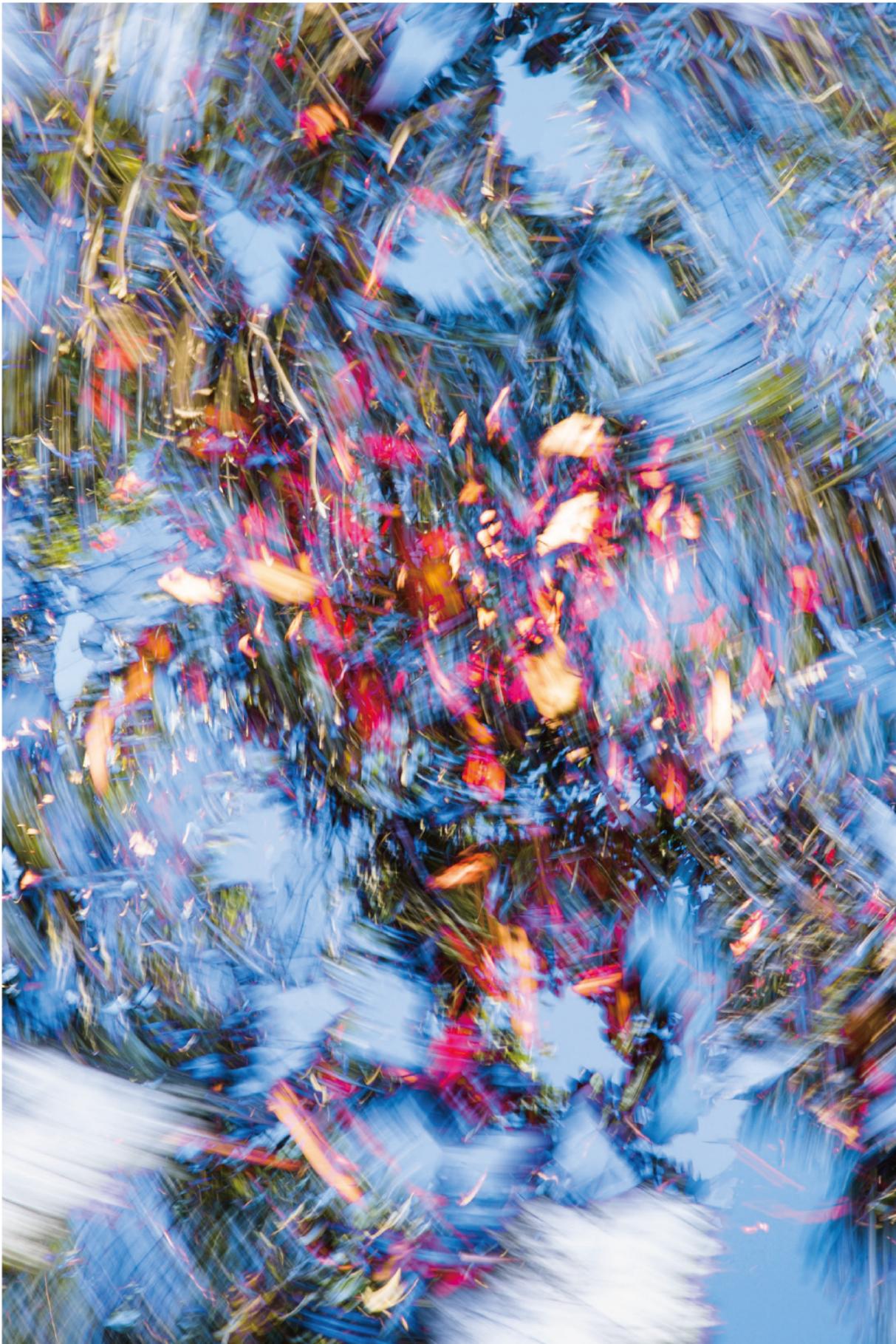


MORINO-BANK



北海道教育大学卒業生アーティスト支援
アート作品レンタル・販売事業

まち
デザ
ラボ

Beam

目 次

1. MORINO-BANK 事業の趣旨	… 1
2. アート作品レンタルの仕組み	… 2
3. 作家プロフィール	… 3
<別紙>モリノバンク 「アート作品レンタル契約書」(案)	… 11

1. MORINO-BANK の取組み趣旨

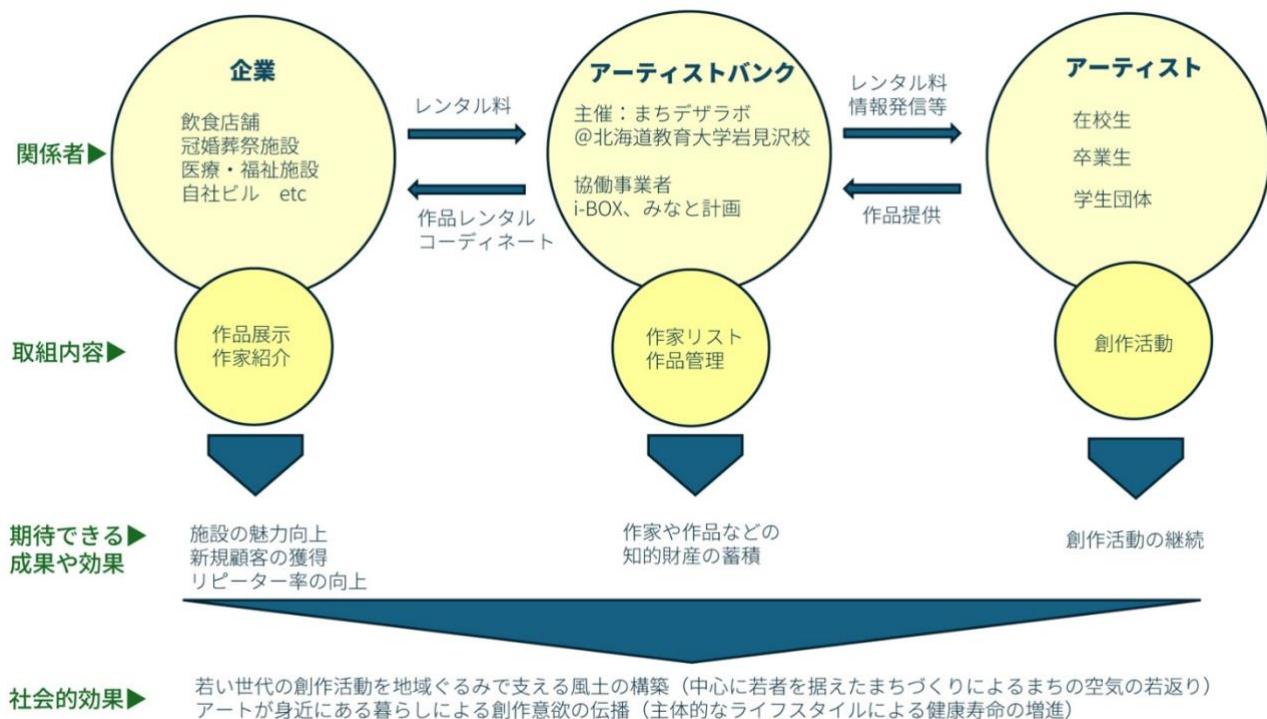
本取組み「MORINO-BANK」は、北海道教育大学を卒業したアーティスト・クリエイターと企業の皆さんをマッチングする事業です。

企業の皆さまの保有される建物・空間に若い感性あふれる作品を展示いただくことで、施設の魅力向上に貢献し、一方で作家にとって事業の収益を創作活動の持続に役立てることができます。

本事業を通じて、両者にとってのメリットを生み出しながら、アートが身边にある暮らしや地域ぐるみで創作活動を支える風土の醸成を目指していきます。

◆主催：北海道教育大学岩見沢校 HUE ミライラボ「まちデザラボ」

◆協働事業者・コーディネーター：NPO 法人みなと計画、i-BOX



図：MORINO-BANK の取組みコンセプト

※本事業における対象作家は、今後、教育大の在校生も含めることを検討していきます。

2. アート作品レンタルの仕組み

(1)作品レンタルの流れ

項目	内容
①事前ヒアリング	展示箇所や展示方法、展示する作品の内容のご希望をお伺いいたします。 作品の内容についてはモリノバンク登録作家からお選びいただきます。
②展示計画のご提案	1年間分の展示作品のご提案をいたします。
③ご契約	ご提案についてご了承をいただけましたら、ご契約を取り交わします。
④作品展示	スタッフが現地へ赴き展示作業を行います。 展示に必要な器具は原則としてこちらからお持ち込みいたします。
⑤作品入れ替え	3ヶ月ごとに作品を入れ替えにお伺いします。

(2)ご契約について

作品レンタルを開始する前に、契約を取り交わします。

ご契約内容の詳細については、「契約書（案）／〇頁」をご覧ください。

(3)レンタル内容について

ご契約は1年間が基本ですが、お試しで1回分（3ヶ月）の展示を行うこともできます。料金設定も本契約に比べて割安となっていますので、まずはどのようなものかお試しになりたい場合はお試しレンタルから導入されることをお勧めします。

項目	お試しレンタル	本契約
①契約期間	3ヶ月	1年※3ヶ月毎4回入れ替え
②レンタル料金	1.5万円／3ヶ月	（販売価格の1/12）／月
③諸経費※1	無料	年間契約額×20%
④作品数	1点	制限無し
⑤サイズ	F30号以下	制限無し

※1 諸経費はモリノバンク運営に必要となる経費（作品の送料、破損した場合の弁償代、スタッフ人件費等）に充てられます。

3. 作家プロフィール

桑迫 伽奈（くわさこ かな）



■作家略歴

1990 年 北海道札幌市生まれ、札幌市在住
2013 年 北海道教育大学岩見沢校美術コース(版画) 卒業

■近年の展覧会

2025 年 個展「浮遊する光、残響」(北海道文化財団アートスペース/札幌)
2024 年 「複製される感性」(入江泰吉記念奈良市写真美術館/奈良)
2024 年 個展「masa hadapan」(Gallery 創/札幌) (PHOTO GALLERY FLOW NAGOYA/ 名古屋)
2023 年 個展「見えない軌跡/記憶を繋ぐ結び目」(gallery CLAC /札幌)
2022 年 個展「seeing the invisible」(aaploit /東京)
2022 年 第4回屋久島国際写真祭

■受賞歴等

2019 年 清里フォトアートミュージアム「ヤング・ポートフォリオ」入選
2019 年 HOKKAIDO PHOTO FESTA2019 ポートフォリオレビュー賞受賞
2021 年 美術手帖 2月号「2020 年代を切り開くニューカマー・アーティスト 100」
2021 年 写真集「不自然な自然」出版 (Case Publishing)
2024 年 JFKL Artist Exchange (Japan Foundation KL / マレーシア)
2024 年 あ³ 大学における文化芸術推進事業 にて滞在制作(奈良女子大学/ 奈良)

■アーティストステートメント

写真を軸に、時間や感覚の痕跡をテーマとした作品を制作。写真に映らなかった光や動きを刺繡で補完する《arteria》、幼少期の記憶をもとに揺れる光や風の気配を可視化する《不自然な自然》などを展開する。2024年のマレーシア滞在では、文化や言語によって異なる「未来」観に着目し、アンケートや映像、テキスト、写真を組み合わせたインスタレーションを制作。また、眠っている糸を譲り受け刺繡に用いるプロジェクトを始動。他者の記憶や時間を宿した糸が、写真の線をなぞることで、異なる時間や身体性が交差する場を生み出している。

■アーティストへのご連絡先

MAIL : ka.kuwasako@gmail.com
TEL : 080-6090-9835
SNS : <https://www.instagram.com/kanakuwasako>
ホームページ URL : <https://kanakuwasako.com>

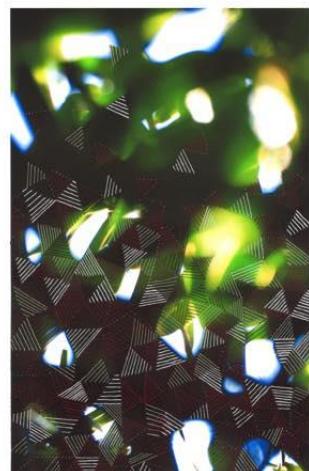
■代表作品



「percolation」
2021年 pigmentprint、糸
400×560mm 額装あり



「seeing the invisible」
2022年 pigmentprint、糸
400×400mm 額なし(木枠固定)



「mimicry」
2020年
pigmentprint、糸
560×400mm
額あり



「不自然な自然」
2021年
pigmentprint
1,189×841mm(額なし)
1,030×728mm(額あり)



「masa hadapan_ No matter how much we move forward, the horizon remains distant.」
2023年 帆布、糸 796×1,620mm 額なし(木枠キャンバス)

津田 光太郎 (つだ こうたろう)



■作家略歴

1995年 北海道札幌市生まれ

2022年 北海道教育大学大学院 教育学研究科美術教育専修 修了

■近年の展覧会

2018年「mima-no-me #みまのめ <VOL.1>」北海道立三岸好太郎美術館

2019年「アートプラネット 2019 若き storytellers 北の絵画のいま」/JR タワープラニスホール

2019年「津田光太郎個展 淚渕と、沌沌と」/岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館

2020年「生誕 100 年 ロボットと芸術展～越境するヒューマノイド～」/苫小牧美術博物館

2020年「—北海道教育大学油彩画研究室4人展— なまぬるい北風」/銀座スルガ台画廊にて開催

2021年「長谷川雅子・新美宏樹・津田光太郎 三人展」/銀座ぎゃらりい秋華洞/東京

2022年 ALLEGORY OF THEM /gallery shop Marco/大阪

2022年 ONE ART TAIPEI /台湾

2023年 PARCO Wall Gallery SHINSABASHI 第9弾「昨日はどんなARTを観ていましたか?」/東京

■受賞歴

2015年 六花亭製菓主催公募展「二十歳の輪郭」最優秀賞

2016年 第16回福知山市佐藤太清賞公募美術展 佐藤大清賞

2016年 第12回世界絵画大賞展 最優秀賞

2016年 第71回二紀展覧会 入選(以降毎年出品)

2017年 第72回二紀展覧会 準会員推挙

2018年 全国絵画公募展 第30回 IZUBI 優秀賞受賞

2018年 神山財団奨学金制度 芸術支援プログラム 奨学生第5期生選抜

2018年 第93回道展 新人賞

2019年 500m美術館「冬のセンバツ展 -第1回美術学生選抜展-」最優秀賞

2021年 美術新人賞デビュー2021 入選

2024年 第2回絹谷幸二芸術賞 推薦作家選出

2025年 第60回昭和会会展 入選

■アーティストステートメント

ロボットや怪獣、SFヒーローなど日本の特撮映画の世界観で制作を行っている。聖書で伝えられる物語の実在性を訴えたバロック絵画の劇的な手法に倣いつつ、漫画の視覚表現を交えて描く。あえてバランスを崩した画面構成により鑑賞者の目線と意識を動かし揺らすことで、物事を一方から眺めるではなく、振り子のように価値観を逆側に振って観察することを促すことを目的としている。

「見て、揺さぶられて、読み解いて、首をかしげたり、頷いたりしてほしい。そして、感じた物語を自由に信じてほしい。」

■アーティストへの連絡先

Mail:laluce.tsuda59@gmail.com

Tell:08032629639

SNS: <https://www.instagram.com/koutaro.tsuda/>

Atelir: 〒068-0006 北海道岩見沢市 6 条 14 丁目 7 サードプレイス morinova

■代表作品



①《Keeper of the days》

2024 年 油彩・パネル

910×727mm 額装有

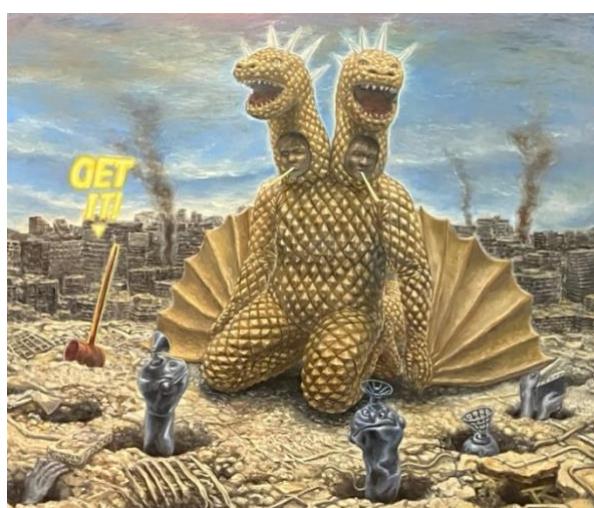


③《CLAW MACHINE》

2022 年

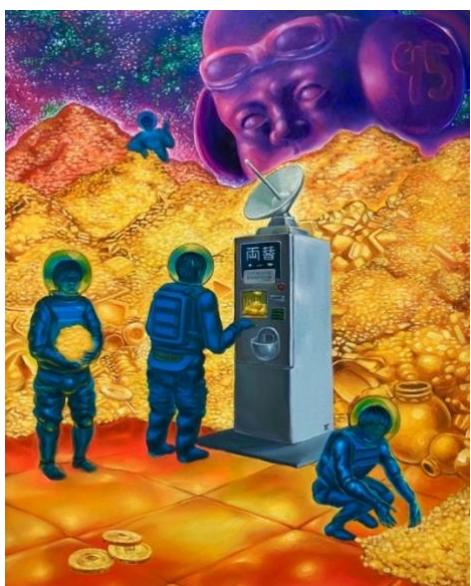
油彩・パネル

410×318mm 額装無



④《SAME HEADS》

2024 年 油彩・パネル 530×455mm 額装有



②《EXCHANGE POINT》

2022 年 油彩・パネル

410×318mm 額装無



⑤《突き通すためのパンチング・マシーン》

2022 年 油彩・パネル

1167×910mm 額装あり

小松 美月（こまつ みづき）

■作家略歴

1996年 恵庭市生まれ
2015年 北海道教育大学岩見沢校
　芸術スポーツ文化学科美術文化専攻
　美術・デザインコース卒業
2022年 北海道教育大学岩見沢校 美術教育専修 修了



■近年の展覧会

2020年 グループ展「加藤大幹・小松美月・佐藤絵梨香 三人展 第1回ホープ展-なんでもないを見つめる-」
2021年 グループ展「村岡陽菜・小松美月 二人展 Presant Nostalgia」(銀座/うしお画廊)
　個展「日々にある」(岩見沢市/岩見沢市絵画ホール・松島正幸記念館)
2022年 グループ展「村岡陽菜・小松美月 二人展 ネオンと陽光」(札幌市/ホテルニューオータニイン札幌)
　グループ展「太田香×三村紗瑛子×小松美月 三人展 いつでもあの場所で」(札幌市/カフェ北都館ギャラリー)
2024年 グループ展「深緑の向こう-船岳紘行とその教え子たち-」(網走市/網走市立美術館)
　グループ展「山内知恵 中村まり子 小松美月 まばたきの隙間」(国立/コート・ギャラリー国立)
　グループ展「太田香×三村紗瑛子×中村まり子×小松美月 4人展 私のおまもり」(札幌市/カフェ北都館ギャラリー)
　個展「パーフェクト・グリーン」(札幌市/カフェ北都館ギャラリー)

■受賞歴等

2019年 第73回二紀展 奨励賞
2023年 第58回昭和会 ニューヨーク賞

■アーティストステートメント

日々にある小さな心の揺らぎや忘れたくない幸せの風景を記録するように制作しています。そのなかで、自分自身が周囲の空間や光に溶けて馴染んでいくような心地よさのイメージを内包した画面づくりを行いたいと考えており、形や色彩、空間の境界を曖昧にしていくような表現を意識しています。

■アーティストへのご連絡先

MAIL : komatsum1121@gmail.com
TEL : 090-6449-8998
SNS : https://www.instagram.com/kmtmdk_pi/

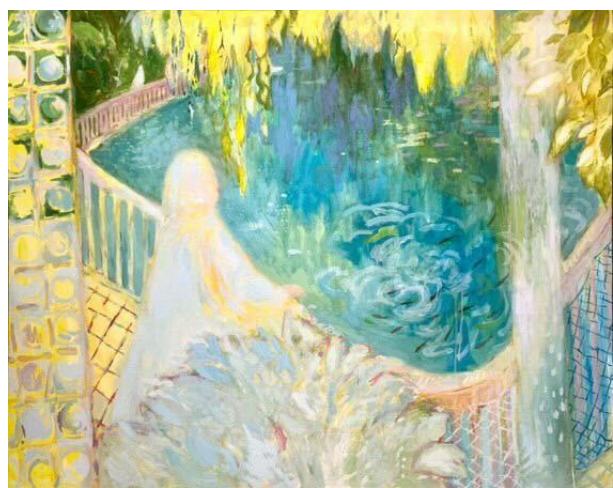
■代表作品



①遠くの音色

2024年

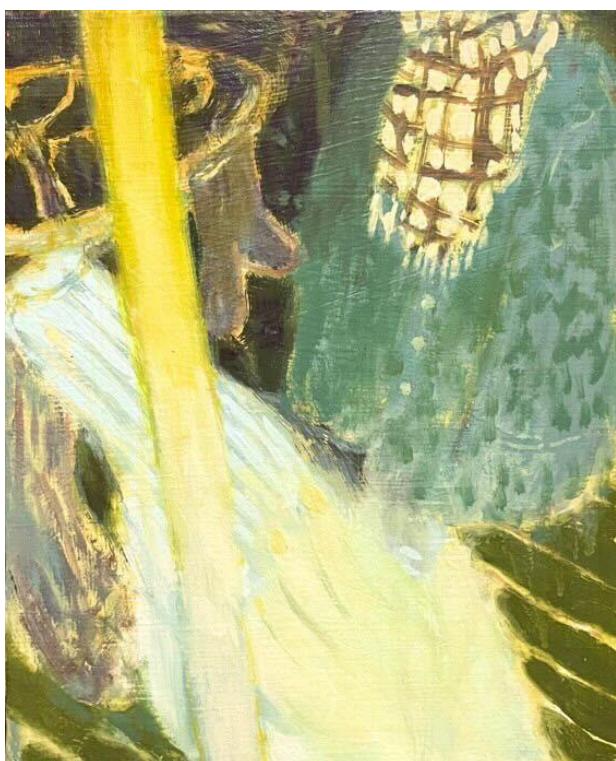
F30 油彩・キャンバス



②光にほどける

2023年

F100 油彩・キャンバス



③生活

2025年

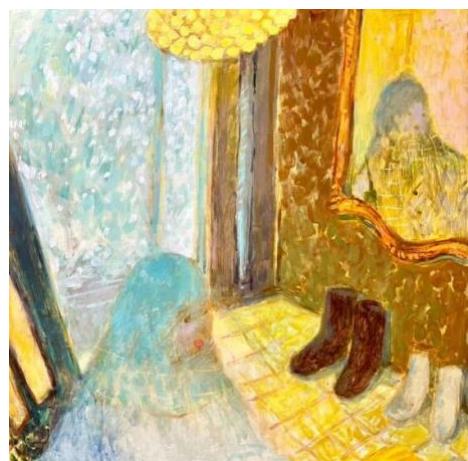
F3 油彩・キャンバス



④言葉を交わす午後

2022年

F30 油彩・キャンバス



⑤朝

2023年

S10 油彩・キャンバス

渡部 花菜（わたなべ かな）

■作家略歴

2000年 北海道札幌市生まれ、札幌市在住
2019年 北海道教育大学岩見沢校美術コース
(イラストレーション) 卒業



■近年の展覧会

2025年 個展「おさかな展 in 図書館パート2」(岩見沢市立図書館/岩見沢市)
2022年 個展「おさかな展 In 図書館」(岩見沢市立図書館/岩見沢市)
2021年 「イララ大賞展」(ギャラリーオマージュ/札幌市)
2021年 個展「おさかな展」(北海道教育大学岩見沢校 i-BOX/岩見沢市)

■受賞歴等

2021年 イララ大賞 「工藤ワビ良平賞」

■アーティストステートメント

アクリル絵の具を用いたお魚のイラストを中心に制作しています。
こだわりのポイントは全て手書きで描くことと、ポップで可愛らしいカラーを使うことです。何も考えずに見て少しクスッと笑えるイラストを目指しています。
たまに石粉粘土を使っておさかなの立体作品も作っています。

■アーティストへのご連絡先

MAIL : w2001kana0309korirakkma1339@docomo.ne.jp

TEL : 080-8293-0937

SNS: <https://www.instagram.com/kana130309/>

■代表作品

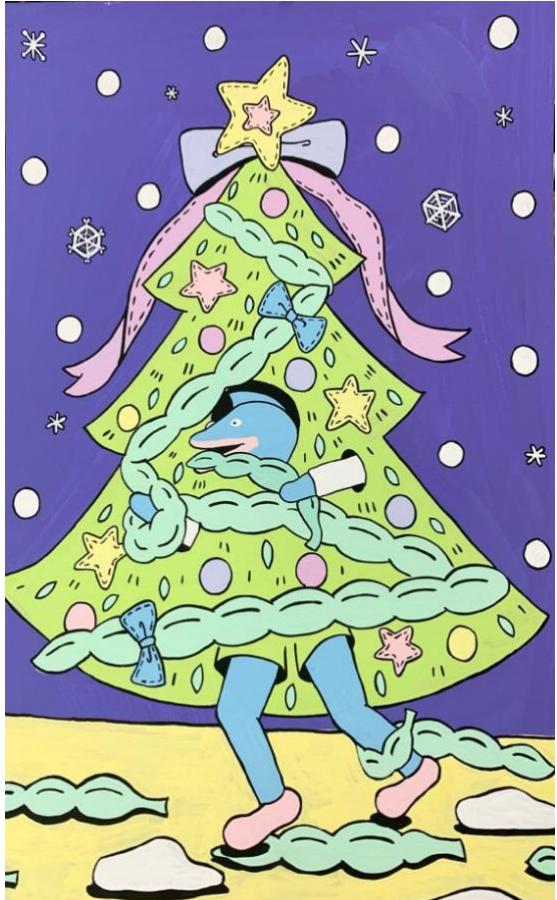
左上 「おべんとう箱」 2022年 アクリルガッシュ

左中 「冬のおともだち」 2024年 アクリルガッシュ

左下 「かまぼこベッド」 2024年 アクリルガッシュ

右上 「クリスマスツリー」 2024年 アクリルガッシュ

右下 「海のパーティ」 2025年 アクリルガッシュ



モリノバンク「アート作品レンタル契約書」(案)

○○○○○○○○○ (以下「甲」という) とモリノバンク (以下「乙」という) とは、作品レンタルについての契約 (以下「本契約」という) を次の通り締結する。

第1条 (レンタル内容)

乙は甲に対し事前に協議を行い合意を得られた展示計画に基づき、作品をレンタルする。

第2条 (契約期間)

2025年○月より一年間とする。

2 但し、契約満了の一か月前までに本契約の終了の意思が確認されない場合、自動的に1年間延長され、その後も同様とする。

第3条 (作品の入れ替え)

乙は3か月ごとに作品の入れ替えを行う。入れ替え時期は下表の通り。

1回目	○月
2回目	○月
3回目	○月
4回目	○月

2 作品の入れ替えの日程は甲乙協議の上決定するため、厳密に3か月での入れ替えとならない場合がある。

第4条 (契約金額)

契約金額は、合計○○,○○○円(うち消費税及び地方消費税額 円)とする。

内訳は下表の通り。

A 作品代	○円	
B 諸経費	○円	A×20%
C 消費税	○円	(A+B)×10%
合計	○円	

2 甲は、契約締結の日以降に乙からの請求書をもって甲の指定する口座に契約金額を振込みにより支払うものとする。

3 乙は、当初計画の一部を展示できない場合には、前項の金額から相当する金額を甲に返金する。返金の時期は甲乙協議の上決定する。

第5条（乙に対する損害賠償）

乙が甲にレンタルしている作品が展示中に破損した場合、甲の故意による場合を除き乙は作品代を甲に請求できない。

2 但し、破損等が生じた場合、甲は速やかに乙に連絡をする。

第6条（契約の解除）

甲または乙が次の各号のいずれかに該当したときは、その相手方は、契約期間中であっても直ちに本契約を解除することができる。

(1) 甲が甲の事情により契約解除を申し出たとき。但しこの場合は支払い済みの金額は払い戻しができない。

(2) 作品の破損や汚損が著しく、安全に作品を展示することが困難であると乙が判断するとき。

第9条（移動及び二次利用の禁止）

甲は、展示作品を乙の許可なく移動したり、展示作品を二次的に利用したりすることができない。ただし、乙が承諾した場合は、この限りでない。

第10条（協議）

本契約に定めのない事項については、甲乙双方誠意をもって協議のうえ、これを決定する。

甲と乙は、本契約の成立を証として自署の場合本書を正副作成しそれぞれが保管をし、電子署名の場合は各自で保管する。

2025年月日

甲 

乙 